

北区こぼれ話 第141回

十条駅と東十条駅の土地はどのように用意されたのか？

十条にある二つの駅のうち、十条駅の開業は、明治43年（1910）11月1日です。今年で、111年になります。一方、東十条駅は、昭和6年（1931）8月1日に、下十条駅として開業しました。今年90周年を迎えます。

「北区の部屋」で読むことができる「高木助一郎日記」には、十条駅の開業について、つぎのように記述されています。

〔明治四十三年〕拾一月一日 曇天 火曜日
本日ハ、十条駅開場ニ付き、一日正月ナリト、抑モ、彼ノ停車場敷地ハ、五百坪ヲ、原厨子中ヨリト、下十条ノ有志ノ寄附トニヨリテ、寄附セラレシナリト。原ノ發起人ハ、百七拾五円也ト云。予ノ家テハ、五円ニテ委員ナリト。今日招カル。〔中略〕十条駅ニ至リシニ実ニ賑カナリシ。夕方ニ至リシニ、電柱ヨリ電柱ニツルサレタル一千有余ノ電灯ノ一時ニ点ゼラレテ其の光ニ目モ眩センバカリナリキ。里神楽、茶番アリシ。

*引用文中の「一日正月」とは、農作業を一日休むことです。「原厨子」とは、下十条の原という村組（小集落）のことです。ズシは、辻子とも表記し、葬儀や婚礼などで協力しあう隣保組織です。十条駅は原の中に位地しました。一方、高木助一郎の家は、下十条の南ズシに属していました。

このように、十条駅の敷地 500 坪の購入費用は、地元の人々の寄附により、まかなわれたのでした。十条駅開業の時、著者の高木助一郎は、まだ若く農業の手伝いをしていました。後に、彼は王子町役場に勤務し、下十条駅開業の時期、土木課長になっていました。そのため、下十条駅設置については、十条駅よりも多くのことを記しています。

〔昭和六年〕八月一日 土曜日 晴天
朝八時出勤、堀江助役と共に下十条駅開通祝賀会の為め、駅隣接町内会に於て尽力せられたるを以て、根岸、田町、松下町、本宿町、仲町、宿町の各会長宅に至り挨拶す。

開通祝賀

一、王子町、アーチ五カ所、但し金二万円ノ範圍にて各町内会に委託す。箇所、地藏寺前、仲道入口、山本金物店前、江頭道入口、石神井坂入口、松下町駅入口（階段下）、田町根岸町境（旧石橋）等なり

一、区画整理組合 金壹百円 六ヶ町へ委託 各町内催し物

一、煙火、学校敷地に於て 三十円四十発

一、余興 五ヶ所

一、提灯行列 田町

さらに、彼は「本駅は区画整理組合にて六百三十八坪余を寄附せしにより新設せられしもの」と記しています。王子第一区画整理組合の事業によって、用地が捻出されたのです。このように、十条にある二つの駅の開業は、地元の人々の努力が実を結んだものだったのです。

【地域資料専門員 黒川徳男】



写真 木造時代の十条駅 昭和27年（手川文夫氏提供）
開業当時の姿をとどめる駅舎について、ある新聞は「北区一のオンボロ駅」と表現していました。（『風土記 わたくしたちの北区』）

北区の部屋
今月の展示

区境を歩いてみました

- ・展示期間：4月23日（金）～5月26日（水）
- ・展示場所：「北区の部屋」企画展示コーナー

北区の区境には、何でそうなっているのかとても不思議な場所があります。今月の展示では、区境を実際に歩いてみた上で、その歴史的経緯について紹介します。



北区と荒川区との区境となっている道灌山坂。右の白い建物は北区、向かいは荒川区。

『北区の歴史 はじめの一步』

王子東地区編・滝野川東地区編 改訂版 刊行しました。

わたしたちが暮らす「ふるさと北区」に親しみと愛着を持ってもらいたいと作成した、「北区の歴史 はじめの一步」王子東・滝野川東地区編は刊行してから約10年が経ちました。この間に街並みや私たちを取り巻く環境も大きく変化しました。その後の調査結果や研究の成果を盛り込み、32ページ大増量の改訂版を刊行しました。年齢問わずお楽しみいただける内容となっております。地域の歴史学習や地域をより深く知るためにぜひお役立て下さい。すでに改訂した赤羽東地区編以外の4地区（赤羽西・滝野川西・王子西・浮間地区編）についても順次改訂版を刊行していきます。



★区内各図書館にてご覧いただけます。

書誌番号：王子東地区編【3-0003181766】 滝野川東地区編【3-0003181750】

★区立小学校3年生には毎年6～7月に該当地区の本を、学校を通して差し上げています。

★下記にて販売しています。

✳ 定 価・400円（税込）＊未改訂の4地区編は310円（税込）です。

✳ 頒布場所・中央図書館「北区の部屋」・滝野川図書館・赤羽図書館・飛鳥山博物館
北区役所第一庁舎1階区政資料室・下記区内書店

図書館刊行物販売書店一覧（令和3年5月現在）

1	◆ビーブックス 北区豊島5-4-1-111 (☎03-3914-1157)	3	◆文書堂 北区赤羽北2-11-18 (☎03-3900-5950)
2	◆ブックスページワン ・イトーヨーカドー赤羽店 北区赤羽西1-7-1-6F (☎03-5993-7330)	4	◆フタバ書店 北区西ヶ原1-55-12 (☎03-6681-0288)



北区ごぼれ話★第142回

誰が名付けた?! 三平坂

さんぺいざか



名主の滝公園（岸町 1-15-25）の北端に沿って三平坂という曲がりくねった急坂があります。坂の名称は「江戸時代の絵図にある三平村」からとって付けられたとされ、この説明は、北区郷土資料館シリーズ3『北区の坂道』（北区教育委員会、1982年）に記されているほか、同地に建っている教育委員会が設置した坂道標柱にも記されています。

「えっ？三平村？どこよそれ？」。

長年、北区の歴史資料の保存、活用に携わってきた私でも「三平村」なんて聞いたことはありません。もし、坂名の由来ともなった「三平村」と書かれた絵図を見せてくださいと「北区の部屋」に来訪される方がいたら、困ってしまうところです。

では、この「江戸時代の絵図」とは何なのでしょう。先の『北区の坂道』には「江戸切絵図所載」と記しているので、取りあえず切絵図をみましょう。そもそも切絵図とは市中や近郊などを一定の地域で区切って作成された絵図のことで、幕末から明治にかけて数多く出版されました。江戸の中心部から離れた北区域が描かれている切絵図は少なく、嘉永5年（1852）に出された近吾堂板「巢鴨染井王子辺絵図」もしくは嘉永7年（1854）に出された尾張屋板「染井王子巢鴨辺絵図」あたりに限られます。そこでこの両絵図を確認してみたのですが、ともに「此辺王子村」とあるのみで「三平村」とは記されていません。切絵図に所載されているのではないのか…。

絵図の文字を眺めながらしばらく考えてピン

とききました。三平村とは王子村の誤読、王子村を読み間違えるなかで登場した全く存在しない村だったのです。たまたま字が潰れてしまっていたのか、摺りが悪く十分に文字が判読できなかったのかも知れません。「王」が「三」に、「子」が「平」と読めてしまったものと思います。こうして絵図を見た人が「ここに三平村という村があるのか、それじゃあ三平坂だ」と名付けたのでしょう。もし、そうであれば三平坂と名付けた人は、ここに「王子村」があったことを知らない人、すなわち、地元ではなく外部の人である可能性も指摘できます。

同地に所在する坂道標柱の記載もあって、これからは三平坂が江戸時代の絵図にある三平村からとって名付けられたという説は再生産され、広まっていくことになるかと思います。でも、最後に改めていいます。

「三平村と書かれた江戸時代の絵図、『北区の部屋』に来てありませんからね！」

（地域資料専門員 保垣孝幸）



▲三平坂の標柱

▼「染井王子巢鴨辺絵図」にある「此辺王子村」（丸囲みの内）。



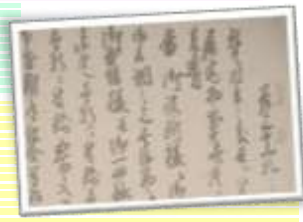
※標柱では三平坂の由来について、室町時代の古文書にある人物の名からとったという説も紹介しています。これは「三平」という称を歴史的に探し、両者を結び付けた想像を説として紹介しているだけだと思います。

*** イベント開催や北区の部屋・今月の展示について ***

今回、3 回目となる緊急事態宣言発令により、例年この時期に行われていた古文書入門講座「北区の古文書を読んでみよう！」は開催延期となりました。



また、北区の部屋・今月の展示「区境を歩いてみた」の展示期間を、6 月 23 日(水)まで延長することといたしました。この展示は、北区の区境が何でそんな不思議な区境となってしまったのか、そのいくつかの場所と歴史的経緯について、詳しく紹介しています。貸出できる関連図書もあります。ぜひご覧ください。



*** 「北区の部屋」いろいろあれこれ ***



皆さまは「北区の部屋」をご利用されたことはありますか。

「北区の部屋」とは、中央図書館内にある北区に関する資料(地域資料)を集めた、“北区”に特化した部屋 のことです。行政資料や郷土資料の図書はもちろんのこと、古地図、古写真、古文書、和装本、ポストカード、ローカル新聞、CD、DVD など、“北区”や“東京都”に関する紙媒体や電子媒体のものなら何でも収集 しています。

また、部屋には 地域資料専門員 がいて、ここに来れば“北区のことなら何でもわかる”をモットーに、調べ物のレファレンスや図書や展示を通して北区がより身近に感じられるよう場所づくりに努めています。

そんな「北区の部屋」について、ご紹介いたします。



■ “地域資料専門員” って何？



黒川 地域資料専門員

「北区の部屋」には、2人の地域資料専門員がいます。他の自治体にはない北区立図書館独自の専門職で、例えるなら博物館や美術館にいる学芸員のような存在です。

“北区”についてとても詳しく、普段は、地域資料の収集・整理・保存・活用、北区に関するテーマ展示・講座・イベントの開催、北区立図書館刊行物や「北区こぼれ話」(図書館広報誌「北区の部屋だより」表面の連載)の執筆などを行っています。

また、北区に関する調べ物のお手伝いも行っておりますので、探したい資料や調べたい事柄がありましたら、ぜひご相談ください。



保垣 地域資料専門員

■ 資料の利用申請って何のこと？



「北区の部屋」では、古い北区の写真や地図を利用したい方に画像の貸出を行っています。最近では、5 月 15 日(土)テレビ東京放映の『出沒！アド街ック天国』北区王子「飛鳥山」の特集回にて、渋沢翁ゆかりの地紹介時に「北区の部屋」所蔵の写真が使われました。

実は「北区の部屋」所蔵の北区の写真は、TV番組や雑誌でよく利用されています。『アド街』や『じゅん散歩』のような街を散策する番組、『るるぶ』などのガイドブック、珍しいところだと不動産パンフレットと使い道はさまざまです。

北区の写真を使って何か作りたいと思ったら、ぜひ「北区の部屋」までご相談ください。ちなみに利用料金は全て無料です。申請も地域資料専門員の勤務日に来館して申請書を書くだけです。お気軽にご利用ください。



北区の部屋だより 第143号

2021年7月



刊行物登録番号2-2-107

編集発行：北区立中央図書館「北区の部屋」 〒114-0033十条台1-2-5 TEL03-5993-1125 令和3年7月発行

北区こぼれ話 第143回

終活で「ときめく」ことなく断捨離される紙たち
—平成・令和の区民の記録は未来に残るか—

地域社会のあり方を未来に伝える上で、手紙や日記、帳簿類などの紙資料は重要です。それは、著名な政治家や芸術家らが書いたものばかりではありません。昭和の例で言えば、出征兵士の家族が近所の様子を綴った手紙、終戦後の食糧不足やヤミ市の様子を書いた日記、酒屋の御用聞きが「ツケ」を記録した「通い帳」などです。紙に書かれた資料は、時代と地域のあり方を映し出す鏡です。

あらゆるものがデジタル化されていった平成・令和の時代、ものを書く機会が減りました。簡単なことは、メールなどで済ませてしまいます。予定表や日記をデジタル化したという方もいます。あらゆる文字が、紙ではなく電気信号で記録されていきます。写真もスマートフォンで撮影し、画面上で見るのが一般的です。つまり、資料が紙の形で残りにくいのです。そのような中での「終活」「かたづけ」「断捨離」本ブームです。

先日、断捨離本の一つに目を通す機会がありました。「また必要になるかもしれないと思い保存してある書類は、結局使わないので捨てましょう」という意味のことが書かれていました。私の心は、著者への敵意でメラメラと燃え上がりました。「消えた年金記録問題」の時「勤務先の正式名称や所在地を調べる方法がありますか」と、どれだけの人々が「北区の部屋」を訪れたかと。

そして、地域資料を保存する立場からも「こんなことを実行されたら、人々が何を考え、どのような生活をしていたかを未来に残すことができなくなってしまう」と思いました。いらないものを捨てれば、部屋も気持ちもすっきりします。しかし「無用の用」という言葉もあります。

本人にとって、もはや意味が無いものでも、20年後には、地域の様子を伝える歴史資料として未来の『北区史』に掲載されているかもしれません。

「個人がものを残さなくても、マスコミが社会の状況を記録するだろう」という意見もあります。しかし、マスコミが残すのは、ニュースバリューがある記事だけです。例えば、学校で事件が起こると報道しますが、事件もなく平々凡々とした学校の日常は報道されません。また、報道機関自身やスポンサーの事情を考慮した内容が報じられます。「毎日、テレビのワイドショーを見ていると、コロナについての話ばかりで、心が鬱々としてくる」という意味のことを話される方が多くいます。しかし、テレビ局は、ワイドショーの見過ぎを問題にはしません。

さらに、歴史学の立場から言えば、新聞は二次資料です。自筆の文書は一次資料です。この世で、ひとつだけのものです。それを「心がときめかない」という理由で捨てるなんて冗談ではありません。地域史編纂の世界は「何でも取っておく人」の存在によってなりたっているところがあります。そういう意味では、ゴミ屋敷の主人がよく言う「これはゴミじゃない。必要な物なんだ。」という言葉に、つい親近感を覚えてしまうのです。

ゴミ屋敷は極端ですが、ご自分や先祖の人生の記録となるものを安易に捨てないということも一つの見識ではないでしょうか。

【地域資料専門員 黒川徳男】



北区の部屋 今月の展示

コロナの中でも花は咲く —北区の植物 この一年半—

＊展示期間：6月25日（金）～7月14日（水）＊展示場所：「北区の部屋」企画展示コーナー

新型コロナで右往左往する人間たち。図書館もまた、その中にあります。しかし、花や木は
何も語らず、騒ぐこともなく、ただそこに生い茂ります。泰然自若。だからこそ、人々は植物
たちに癒されるのでしょうか。サクラ・ツツジ・サクラソウ…。

本を探し終えたら、そして勉強の合間に、ぜひ「北区の部屋」へパネルを見に来てください。
3週間の短い期間の展示です。写真大きめ、文字少なめでお待ちしています。

日本商工会議所青年部作成

渋沢栄一翁からお金のお金を大切にまなぼう！

『おかねってなあに？』

東京商工会議所北支部青年部様から寄贈いただき、
北区立中央図書館で贈呈式を行いました。



監修 渋澤 健 作 おかださえ



杉本北支部青年部幹事長 堀田中央図書館長

渋沢栄一は1878年（明治11）に東京商工会議所
を創立し、初代会頭を務めました。2024年（令和6）
新一万円札の肖像となる、渋沢栄一からお金のお金
の大切さを学ぶ本です。

北区立中央・滝野川・赤羽図書館にて閲覧・貸出
できます。（中央図書館では「北区の部屋」渋沢栄一
関連書籍コーナーに配架しています。）

書誌番号：3-0003197124

平和祈念週間

北区では、1986年（昭和61）に制定した平和都市宣言を記念
して、8月3日（火）から7日（土）を**平和祈念週間**と位置づけ**平和展**
を実施します。北区立中央図書館は**＊2つの展示＊**で参加します。

【開催場所】北とぴあ地下1階 展示ホール

【開催期間】8月3日（火）～7日（土） 10時～18時（7日のみ16時まで）

テーマ『～「北区の部屋」が集めた戦争のかけらたち～』 黒川地域資料専門員

『ドナルド・キーンと平和』※ 北区図書館活動区民の会

※は8月8日（日）～8月31日（火）中央図書館で
展示します。

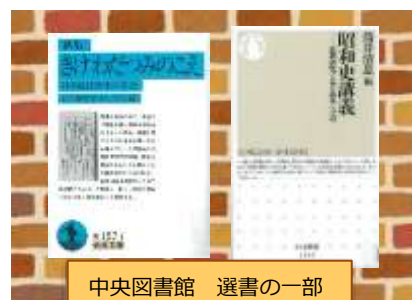


北区図書館は <平和図書コーナー> を開設し、本を通じて
平和について考えるきっかけになるような本を集め展示します。

【期間】7月16日（金）～8月31日（火）休館日除く

【場所】（一般書）中央・滝野川・赤羽図書館

（児童書）図書館全館（子ども室・子どもコーナー等）



中央図書館 選書の一部

北区の部屋だより

2021年8月 第144号

刊行物登録番号 2-2-107

編集発行：北区立中央図書館「北区の部屋」〒114-0033 北区十条台 1-2-5 TEL03-5993-1125 令和3年8月発行

北区二ぽれ話
第144回

北区温暖化 ～身近な社会問題～

暑い日が続いています。気象庁が最高気温 35℃以上となった日を猛暑日と呼び始めたのが2007年(平成19)のこと。それから15年近くが経過して猛暑日という言葉がすっかり社会に定着した一方で、そのうち最高気温が40℃以上の日を示す呼称が日常生活の中で普通に使われる日になるのではないかと恐ろしくもなります。

さて、私たちが住む北区の気温はどうなのでしょう。実は過去に遡って北区の気温を一覧にしている図書はありません。そこで国土交通省気象庁のホームページ(<https://www.jma.go.jp/>)

にある「過去の気象データ検索」を利用し、近隣の気温変化をみてみましょう。

下の表は、東京(大手町)および練馬における各年8月の最高気温の平均値を示したものです。多少の増減幅はあるものの40年間でともに上昇傾向にあることが知られます。やはり、

東京も暑くなっているようです。

こうした傾向は、北区で見られる生物からも確認できます。2007年以降北区ではタテハチョウ科のツマグロヒョウモンという蝶を目にするようになりました。かつては、静岡県から南西諸島に分布していた蝶ですが2000年代に入

ると関東地方でも普通に見られるようになり、今では北区でとてもよく目にする蝶となりました(『北区の昆虫・小動物ガイドブック』)。これも温暖化との関係が指摘されています。

現在では、SDGs(持続可能な開発目標)をはじめ人類が共有すべき

問題が様々なかたちで提起されていますが、そういったときこそ「では、北区ではどうなのか」と身近な問題としてまず理解しておくのも重要かと思います。特に、夏休みの宿題としては最適かと思いますが、いかがでしょうか。ご相談お待ちしております。

【地域資料専門員 保垣孝幸】



▲ツマグロヒョウモン(オス)

表 東京(大手町)と練馬の8月最高気温の推移(気象庁HPのデータより作成)

	1981年8月	1990年8月	2000年8月	2010年8月	2020年8月
大手町	31.1℃	32.4℃	32.4℃	33.5℃	34.1℃
練馬	30.4℃	32.9℃	32.7℃	35.1℃	34.8℃

※10年ごとの記録ですが1980年は記録的な冷夏で例外的な数値となってしまうことから表は1981年としました。

*** 北区の部屋・今月の展示のご案内 ***

- テーマ: 東京 1964→2020+
- 展示期間: 7月16日(金)～8月25日(水)
- 展示場所: 「北区の部屋」企画展示コーナー

今月の展示では、「北区の部屋」で所蔵している東京 1964 オリンピック関連の資料を中心に、東京 2020 と比較しながら紹介します。



*** 「平和祈念週間」がはじまります。***

北区では昭和 61 年に制定した「平和都市宣言」を記念し、今年も「平和祈念週間」を設け、平和を願って「平和展」を開催いたします。平和展には、北区立中央図書館からも 2 つのパネル展示で出展します。

それに先駆け、区内各図書館に「平和図書コーナー」も開設しました。これら平和展の展示や図書を通し、皆さまが平和について考える 1 つのきっかけになればと願っております。

中央図書館
一般向け平和図書コーナー

*** 平和展 ***

- 期間…8月3日(火)～7日(土)
10時～18時(最終日は16時)
- 場所…北とぴあ地下1階展示ホール
- 展示テーマ
 - ①「北区の部屋」が集めた戦争のかけらたち
…制作: 黒川徳男 地域資料専門員
 - ② ドナルド・キーンと平和(*)
…制作: 北区図書館活動区民の会

*「ドナルド・キーンと平和」のパネル展示は、「平和展」終了後、引き続き中央図書館にて8月8日(日)～31日(火)まで展示します。

*** 平和図書コーナー ***

- 期間…7月16日(金)～8月31日(火)
※休館日を除く
- 一般向けコーナーのある図書館
 - ▶ 中央・滝野川・赤羽図書館
- 子ども向けコーナーのある図書館
 - ▶ 区内図書館全館の子ども図書のコーナー



中央図書館
子ども向け平和図書コーナー

*** 北区・オリジナル紙芝居 刊行しました! ***



紙芝居 書誌番号: 3-0003195897

_____ むかし北区豊島にあったおはなしです。
豊島村には「天狗の鼻」のように曲がった川がありました。
さて、この村に大男のいだらぼっちが、
ドッシン、ドッシン、ドッシンとやってきました _____

東京都北区豊島に伝わる、「いだらぼっち」伝説が紙芝居になりました。北区に伝わる昔ばなしや伝説を題材にした、東京北区の昔ばなしシリーズの1冊です。区内各図書館で貸出できるほか、中央図書館で販売しています(令和3年3月発行/税込価格2,000円)。

■東京 北区のむかしばなし シリーズ『豊島のいだらぼっち』 ■12場面[解説書付き]
■制作: NPO法人 アドリブ ■監修・発行: 東京都北区教育委員会教育振興部中央図書館

北区
こぼれ話
第145回

昭和11年、荒川ゆうえんの犯罪防止展覧会 —表現の不自由の中で エログロ展示はなぜ成立したのか—

昭和戦前期の日本については、言論弾圧や軍国主義のイメージ一色で語られがちです。しかし、その時代の資料を読んでみると、サラリーマンのモダンな生活、江戸川乱歩などの猟奇的探偵小説、「うちの女房にや髭がある」などのコミックソング、阿部定事件のようなスキャンダラスな事件など実に様々に彩られています。そのような中で流行した言葉が「エロ・グロ・ナンセンス」です。

ここに、昭和11年（1936）に荒川ゆうえん（当時、敷地の西側半分が王子区）で開催された、あるイベントのチラシがあります。少し引用してみましょう。

出品物はいづれも明治、大正、昭和を通じ世間を震駭^{しんがい}せる大事件関係の貴重参考品、東西刑罰^{ちんき}の珍奇な逸品揃ひ、その豊富なる内容にはエロあり、グロあり、スリルあり

スリルはともかく、遊園地でエロありグロありとは驚かされます。もちろん、当時の遊園地が、今のように子どもの遊具中心ではなく、季節の花などを楽しむ場であったことを考慮してもです。さらに違和感を覚えるのが、イベントの名が実に真面目な「犯罪防止展覧会」であり、そして主催が報知新聞社（当時、スポーツ紙ではなく一般紙）であったことです。「出陳物^{しゅっちんぶつ}の一部」として例にあげられているのは「米国に於て現在死刑に使用してゐる電気椅子」「独逸軍が青島で数百名を断罪に附した大ギロチン台」をはじめとして、殺人に使用されたバットや包丁、拷問用具などです。さらに、テロや処刑に関する写真、そして、ここでは書けないような残酷で生々しい内容の展示物であふれていました。しかも「特別室（本室に限り



報知新聞社主催「犯罪防止展」チラシ 書誌番号：3-0003202658
「北区の部屋」で複写版を見ることができます。

十八歳未満の方は入場お断り致します）」という表記があります。成人向けの展示です。こんなものを公衆の面前にさらしていいのかと、今でも思ってしまうものばかりが展示されていました。

実は、真面目な名前のイベントで、エログロ的展示がなされた例はこれだけではありません。例えば、明治以降「衛生展覧会」というイベントが各地で開かれていました。その内容については、田中聡^{たなかさとし}氏の『衛生展覧会の欲望』（青弓社、1994年）や荒俣宏^{あらかたひろし}氏の『衛生博覧会を求めて』（ぶんか社、1997年）に詳しく書かれています。こちらも、かなりエログロだったようです。

表現の自由が強く制限されていた時代、芸術的裸婦画の展示でさえ、官憲^{かんけん}の眼を気にしなければなりません。ところが、犯罪防止や衛生思想普及という「たてまえ」の下でなら、性的な展示や猟奇的な展示が許されていたのです。公益のためという看板^{かか}を掲げれば、エログロ展示は黙認されたのでした。表現の不自由の向う側へ通じる抜け穴があったということでしょう。 【地域資料専門員 黒川徳男】



北区の部屋
今月の展示

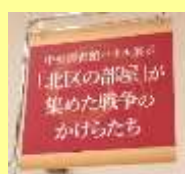
「北区の部屋」が集めた 戦争のかけらたち Part1

展示期間：8月27日（金）～9月23日（木）

展示場所：「北区の部屋」企画展示コーナー

令和3年度北区平和祈念週間の一環として、8月3日から7日にかけて北とぴあ地下1階展示ホールにおいて様々な展示がおこなわれました。北区の部屋からは、パネル『「北区の部屋」が集めた戦争のかけらたち』を出展いたしました。ご覧いただいた方からは、地元の資料で構成したことについて、お褒めの言葉を頂戴いたしました。しかし、会期がわずか5日間であることを惜しむ声も聞かれました。そこで、この展示を2分割し、北区の部屋でも展示することにしました。今回はその1回目です。第2回は9月25日（土）からです。

平和展 北とぴあ会場 展示の様子



《荒川放水路特集》



「これまで経験したことのない大雨」が毎年のように降り、各地で水害が発生しています。9月1日「防災の日」にちなんで「東京を水害から守ってきた荒川放水路」「荒川放水路や岩淵水門の建設工事を指導した青山士^{あおやまあきら}」について書かれた本をリストにしました。

中央図書館刊行の『北区の歴史ははじめの一步』赤羽東・浮間地区編、『TOKYO 北区の KITA みち～目で見える北区の歴史～』にも掲載されています。また、子ども向けの分かりやすい水防の資料もご紹介します。（※は貸出のできない資料です。館内でご覧ください。）

タイトル	著者名等	書誌番号
評伝技師・青山士の生涯 われ川と共に生き、川と共に死す	高崎 哲郎	3-0001134000
評伝技師 青山士 その精神の軌跡	高崎 哲郎	3-0001842554
荒川放水路物語	絹田 幸恵	3-0000999197
写真集 青山士/後世への遺産	青山士写真集編集委員会	3-0001221444
荒川放水路変遷誌	荒川放水路変遷誌編集委員会	3-0002512385
荒川放水路と青山士	荒川知水資料館	3-0001431804
語り継ぐ北区の水害（DVD版：3-0002639512）	あらかわ学会	3-0002809990
東京都北区洪水ハザードマップ 2017年改訂版 ※ 荒川が氾濫した場合（英語・中国語・ハングル版有）	北区道路公園課公園河川係	3-0002811939
東京都北区洪水ハザードマップ 2008年版裏面 隅田川・新河岸川・石神井川・神田川が氾濫した場合	北区道路公園課公園河川係	3-0001862327
<北区の子ども水防ブックレット> もし、北区で水害にあったら	あらかわ学会 千葉まちづくり工房	3-0002809993
防災にも役立つ！川のしくみ 子供の科学サイエンスブック	川上 真哉	3-0003165001 Y A コーナー